DERWENT-ACC-NO:

1992-393472

DERWENT-WEEK:

199248

COPYRIGHT 2005 DERWENT INFORMATION LTD

Suzuki

TITLE:

Electronic endoscope device clamp circuit to

make black

level of video signal obtained from solid state

image

sensing element constant - gives variable

voltage

coincident with reference voltage to blank

portion thus

equalises levels of optical black portion and

blank

portion of video signal with reference voltage

NoAbstract

PATENT-ASSIGNEE: FUJI PHOTO OPTICAL CO LTD[FUOP]

PRIORITY-DATA: 1991JP-0080997 (March 19, 1991)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO PUB-DATE LANGUAGE

PAGES MAIN-IPC

JP 04291576 A October 15, 1992 N/A

006 H04N 005/18

APPLICATION-DATA:

PUB-NO APPL-DESCRIPTOR APPL-NO

APPL-DATE

JP 04291576A N/A 1991JP-0080997

March 19, 1991

INT-CL (IPC): A61B001/04, G02B023/24, H04N005/18

ABSTRACTED-PUB-NO: JP 04291576A

EQUIVALENT-ABSTRACTS:

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/6

TITLE-TERMS: ELECTRONIC ENDOSCOPE DEVICE CLAMP CIRCUIT BLACK LEVEL

VIDEO SIGNAL

OBTAIN SOLID STATE IMAGE SENSE ELEMENT CONSTANT VARIABLE

VOLTAGE

COINCIDE REFERENCE VOLTAGE BLANK PORTION EQUAL LEVEL OPTICAL BLACK

PORTION BLANK PORTION VIDEO SIGNAL REFERENCE VOLTAGE NOABSTRACT

DERWENT-CLASS: P31 P81 S05 W04

EPI-CODES: S05-D04; W04-M01D6; W04-P01K;

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N1992-300231

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平4-291576

(43)公開日 平成4年(1992)10月15日

(51) Int.C1. ⁸		識別配号	庁内整理番号	ΡI	技術表示箇所
H04N	5/18	A	8626-5C		
A 6 1 B	1/04	372	7831 - 4 C		•
G 0 2 B	23/24	В	7132-2K		

審査請求 未請求 請求項の数2(全 6 頁)

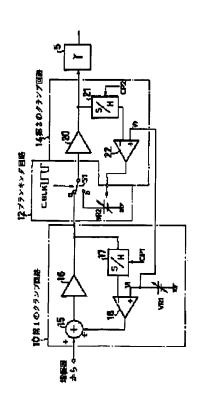
(21) 出顧番号	特顯平 9-80997	(71)出願人	000005430 富士写真光機株式会社
(22) 出顧日	平成3年(1991)3月19日		埼玉県大宮市植竹町1丁目324番地
		(72)発明者	鈴木 茂夫
			埼玉県大宮市植竹町1丁目324番地 富士
			写真光機株式会社内
		(72)発明者	岡田藤夫
			埼玉県大宮市植竹町1丁目324番地 富士
			写真光模株式会社内
		(74)代理人	弁理士 緒方 保人

(54) 【発明の名称】 電子内視鏡装置用クランプ回路

(57)【要約】

[目的] クランプ回路で、ビデオ信号のプランク部分を光学的黒部分の黒レベルに完全に一致させ、ガンマ補正などの処理を良好に行えるようにする。

【構成】 ビデオ信号のオプティカルブラック部分から 黒レベルをサンブルホールドし、このサンブルホールド 電圧が基準電圧と等しくなるようにクランプする第1の クランプ回路10と、可変電圧器VRを備え上記ビデオ 信号のプランク部分をブランキング処理するプランキン グ回路12と、このブランキング回路12の出力をサン ブルホールドし、このサンブルホールド電圧を上記第1 のクランプ回路で設定された基準電圧と比較して上記プランク部分の電圧レベルが基準電圧と等しくなるように 上記プランキング回路12の可変電圧器VRの電圧を制 御する第2のクランプ回路14とを設ける。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 固体振像素子で得られたビデオ信号を増 幅処理し、このビデオ信号に対してガンマ補正すること によって被観察体内の画像表示を行う電子内視鏡装置に おいて、上記ビデオ信号のオプティカルプラック部分か ら黒レベルをサンプルホールドし、このサンプルホール ド電圧が基準電圧と等しくなるようにクランプする第1 のクランプ回路と、可変電圧器を備え上記ピデオ信号の プランク部分をプランキング処理するプランキング回路 と、このプランキング回路のプランキング動作中の出力 10 をサンプルホールドし、このサンプルホールド電圧を上 記第1のクランプ回路で設定された基準電圧と比較し、 この比較出力によって上記プランク部分の電圧レベルが 基準電圧と等しくなるように上記プランキング回路の可 変電圧器の電圧を制御する第2のクランプ回路と、を設 けたことを特徴とする電子内視鏡装置用クランプ回路。

【請求項2】 上記第2のクランプ回路は、第1のクランプ回路でサンプルホールドした黒レベルのサンプルホールド電圧と第2のクランプ回路で得られたプランク部分のサンプルホー 20ルド電圧とを比較し、プランク部分のレベルが第1のクランプ回路の黒レベルと等しくなるようにプランキング回路の可変電圧を制御することを特徴とする上記第1請求項記載の電子内視鏡裝置用クランプ回路。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は電子内視鏡装置用クランプ回路、特に固体損像素子で得られたビデオ信号の黒レベルが一定になるように処理するクランプ回路に関する。

[0002]

【従来の技術】電子内視鏡装置は、電子内視鏡(電子スコープ)を例えば体腔内等の被観察体内に挿入し、この電子スコープの先端に設けられた固体機像素子であるCCD (Charge Coupled Device)等で被観察体内を操像することによって、被観察体内の画像をモニタ上にカラー表示するものである。

【0003】この種の装置の回路構成が図5(a)に示されており、図5(a)においてCCD1には増幅器2及びクランプ回路3が接続され、上配CCD1で得られ40たビデオ信号は増幅器2によりR(赤),G(緑),B(青)毎に異なるゲインで反転増幅された後に、クランプ回路3ではクランプパルスCP1によって、各RGBのビデオ信号の黒(ブラック)レベルが一定の基準値に揃うようにクランプ(直流再生)処理される。すなわち、上記CCD1等の固体振像素子の分光感度特性や面膜次方式ではRGBのカラーフィルタの光学特性等により、RGBの各ビデオ信号の振幅に差があり、この信号レベルの差をなくすために異なるゲインでビデオ信号を増幅すると共に、ビデオ信号の直流再生を行っている。60

2

【0004】上記クランプ回路3には、ビデオ信号の1水平走査間のブランク部分を黒レベルに合せるためのブランキング回路4が接続され、このブランキング回路4は図6に示す信号処理を行っている。すなわち、ブランキング回路4は図(a)に示されるビデオ信号のように、一般に1水平走査期間(1H)において光学的に黒の部分100の直後に走査のプランク部分101がブランキングパルスによって形成されている。そして、プランキング回路4では図(b)のクランプパルスに基づいて上記ブランク部分101をクランプしており、この結果、図(c)に示されるように、ブランク部分101が基準線200に揃うようになる。

【0005】そして、上記プランキング回路4にはガンマ(γ)補正回路6が接続されており、このガンマ補正回路6では上記CCD1に入力された光量に対してモニタへの電気出力が一定の関係になるような補正が行われる。すなわち、図5(b)に示されるように、TVモニタの出力特性は曲線300に示されるように非線形となるので、入力信号を曲線301の逆特性で補正することによりビデオ信号の線形の入出力特性を確保しており、これによってCCD1で得られた画像情報を忠実な色でモニタ上に再現することができる。

[0006]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記電子内視鏡装置のクランプ回路では、クランプ回路3とは別個にプランキング4自体が予め設定された基準電圧に一致するようにクランプ動作を行っており、図6 (c)に示されるように、ビデオ信号のブランク部分101が黒レベルが再生される基準線200に完全に一致しないという問題があった。

【0007】ところで、上記のガンマ補正回路5では、 上述のように、図5(b)の曲線301のゲインでビデ オ信号を増幅処理するが、この増幅処理はクランプ回路 3 で光学的黒部分をクランプした際のサンプルホールド 電圧(黒レベル)を基準として行われている。しかし、 この場合のサンプルホールド電圧は、比較的狭いクラン プパルスで検出した黒レベル値となるため、走査ライン 毎に変動してビデオ信号のSN比が低下するという問題 があった。すなわち、ガンマ補正の基準となるビデオ信 号の黒レベルの電圧は広い幅のパルス(クランプパル ス)で検出することによって正確な値が得られることに なり、上記図8に示される光学的黒部分100だけでな く、プランク部分101も含めて広い範囲の黒レベルを 検出できればよいことになる。しかし、従来では上述の ようにプランク部分101が黒レベルに完全に揃わない ため、広い幅のパルスにて黒レベル値の検出をすること ができなかった。

【0008】本発明は上記問題点に鑑みてなされたものであり、その目的は、ビデオ信号のブランク部分を光学的黒部分の黒レベルに完全に一致させ、ガンマ補正など

の処理を良好に行うことができる電子内視鏡装置用クラ ンプ回路を提供することにある。

[0009]

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため に、第1請求項の発明に係るクランプ回路は、固体摄像 **素子で得られたビデオ信号を増幅処理し、このビデオ信** 号に対してガンマ補正することによって被観察体内の画 像表示を行う電子内視鏡装置において、上記ビデオ信号 のオプティカルブラック(光学的黒)部分から黒レベル 準電圧と等しくなるようにクランプする第1のクランプ 回路と、可変電圧器を備え上記ピデオ信号のプランク部 分をプランキング処理するプランキング回路と、このブ ランキング回路のプランキング動作中の出力をサンプル ホールドし、このサンブルホールド電圧を上記第1のグ ランプ回路で設定された基準電圧と比較し、この比較出 力によって上記プランク部分の電圧レベルが基準電圧と 等しくなるように上記プランキング回路の可変電圧器の 電圧を制御する第2のクランプ回路と、を設けたことを

【0010】また、第2請求項に係る発明は、上配第2 のクランブ回路において、第1のクランプ回路でサンプ ルホールドした黒レベルのサンプルホールド電圧を入力 し、このサンブルホールド電圧と第2のクランブ回路で 得られたプランク部分のサンプルホールド電圧とを比較 し、プランク部分のレベルが第1のクランプ回路の黒レ ベルと等しくなるようにプランキング回路の可変電圧を 制御することを特徴とする。

[0011]

【作用】上記の構成によれば、ビデオ信号は増幅処理さ れた後に、まず第1のクランプ回路でビデオ信号の光学 的黒(オプティカルブラック) 部分から第1のクランプ パルスにより黒レベルがサンブルホールドされ、この黒 レベルが基準電圧に揃うようにクランプされる。そし て、上記第1のクランプ回路の出力は、プランキング回 路でプランキングパルスによりビデオ信号のプランク部 分が形成されると共に、このプランク部分に可変電圧器 からの電圧が嵌め込まれることになる。このとき、ビデ オ信号は第2のクランプ回路によって上記プランク部分 のレベルがサンブルホールドされ、このサンブルホール 40 ド電圧と比較器に設定されている上記第1のクランプ回 路で設定された基準電圧とが比較され、その差の信号を 上記可変電圧器に制御信号として供給される。従って、 可変電圧器は上記基準電圧と一致する可変電圧をプラン ク部分に与えることになるので、ビデオ信号のオプティ カルプラック部分とプランク部分のレベルが基準電圧に 良好に揃うことになる。

[0012] また、上記の第2のクランプ回路で、第1 のクランプ回路で得られた黒レベルのサンプルホールド 電圧とブランク部分のサンプルホールド電圧とを比較し 50 た場合には、ビデオ信号のプランク部分のレベルが第1 クランプ回路から出力されたオプティカルブラック部分 の実際の黒レベルに一致することになる。

[0013]

【実施例】図1には、第1実施例に係る電子内視鏡装置 用クランプ回路の構成が示されており、図示のように、 ガンマ補正回路5の前段に第1のクランプ回路10、プ ランキング回路12及び第2のクランプ回路14が設け られている。上記第1のクランプ回路10は、ビデオ信 をサンプルホールドし、このサンプルホールド電圧が基 *10* 号を入力する加算器15、アンプ16、第1のクランプ パルス (オプティカルブラックパルス) CP1 が供給され るサンプルホールド回路17及び比較器18を有し、こ の比較器 1 8 には参照基準電圧V1 が可変電圧器VR1 から与えられている。また、プランキング回路12はコ ンポジットプランキングパルス(C.BLX)により切換え 動作を行うスイッチS1 及び可変電圧器VR2 を有して おり、上記スイッチS1 を切り換えることによってビデ 才信号にブランク部分を形成することができる。

> 【0014】そして、第2のクランプ回路14は上記プ 20 ランキング回路12から出力されるビデオ信号を入力す るアンプ20、第2のクランプパルスCP2 が供給される サンプルホールド回路21及び比較器22を有してお り、上記比較器22には上記第1のクランプ回路10の 可変電圧器 VR1 から第1のクランプ回路10と同一の 参照基準電圧V1 が与えられている。また、この比較器 22の出力は上記プランキング回路12の可変電圧器V R2 に供給され、比較器出力によって可変電圧器VR2 の出力電圧を制御している。

【0015】第2図には、上記プランキング回路12及 び第2のクランプ回路14の具体的な回路が示されてお り、第2のクランプ回路14内のサンプルホールド21 は第2のクランプパルスCP2 で切換え動作するスイッチ S2 、ホールド電圧をチャージするコンデンサC1 、オ ペアンプ21 aからなる。従って、上記クランプパルス CP2 によってスイッチS2 が切換え動作を行うことによ って、ビデオ信号のプランク部分の電圧を入力すること ができ、この電圧はコンデンサC1 にてホールドされ る。また、比較器 2 2 は抵抗 R1 、オペアンプ 2 2 a、 このオペアンプ22aに並列接続されたコンデンサC2 からなる。

【0016】更に、可変電圧器VR2 はオペアンプ2 4, 25、抵抗R2~R5からなり、オペアンプ24の 負端子側には抵抗R2 を介して電圧VA が与えられ、正 端子側には抵抗R4 を介して上記比較器22の出力が入 力されている。従って、第2のクランプ回路14で黒レ ペルを設定する基準電圧V1 よりも低い電圧がサンプル ホールドされると、比較器22のオペアンプ228では 参照基準電圧V1 と比較され、その差の正電圧がオペア ンプ24(可変電圧器VR2)へ供給されることにな る。そうすると、オペアンプ24は参照電圧VAと比較 して正常圧をオペアンプ25へ出力することになり、ス イッチS1 のb端子側には基準電圧V1 が供給されるこ とになる。このような回路によれば、ビデオ信号のプラ ンク部分が黒レベルの基準電圧V1 に良好に一致すると 共に、第1のクランプ回路10で処理されたオプティカ ルブラック部分のクランプ電圧(基準電圧V1) が多少 変動したとしても、その変動に追従して第2のクランプ 回路14でのクランプ電圧も変動するので、オプティカ ルブラック部分のレベルとブランク部分のレベルは常に 一定となる。

【0017】第1実施例は以上の構成からなり、以下に 第3図に基づいてその作用を説明する。CCD(1)で 得られたビデオ信号は、増幅器(2)で反転増幅された 後に、第1のクランプ回路10に供給され、この第1の クランプ回路10でビデオ信号のオプティカルプラック 部分のクランプ動作が行われる。すなわち、サンプルホ ールド回路17では図3に示される上記オプティカルブ ラック部分100が図3(b)に示される第1のクラン プパルスCP1 によってサンプルホールドされ、このサン プルホールド電圧は比較器18へ供給される。そうする 20 と、この比較器18では、可変電圧器VR1で設定され ている参照基準電圧VI と上記サンプルホールド電圧が 比較され、その差の電圧が加算器15に出力され、この 加算器15でビデオ信号に上記差電圧が加えられる。従 って、サンブルホールド電圧が基準電圧よりも低い場合 は、ビデオ信号の電圧を上げるように、逆に高い場合は ビデオ信号の電圧を下げるように作用し、図3 (a) に 示されるようにピデオ信号の1水平走査期間毎の黒レベ ルは基準電圧V1 に揃うことになる。

【0018】そして、上記第1のクランプ回路10の出 力は、プランキング回路12へ出力されており、このプ ランキング回路12内ではスイッチS1が図3(c)に 示されるプランキングパルスC. BLKによって切換えられ る。すなわち、プランキングパルスが "E1" の場合は a 端子、"Low"の場合はb端子へ切換えられ、これによ って図3 (a) に示されるビデオ信号の1水平走査の間 の部分101aがプラングになり、図3(d)に示され るように、ビデオ信号のオプティカルプラック部分10 0の直後にプランク部分101が形成される。

【0019】一方、上記スイッチS1 から出力されるビ 40 デオ信号は、第2のクランプ回路14へ供給されてお り、ビデオ信号はアンプ20を介してサンプルホールド 回路21へ供給される。このサンプルホールド回路21 では、ピデオ信号が図3(e)に示される第2のサンプ ルパルスCP2 によってサンプルホールドされ、このサン ブルホールド電圧は比較器 2 2 で参照基準電圧 V1と比 較されることになり、この比較器22の出力は、プラン キング回路12の可変電圧器VR2に供給される。この 可変電圧器VR2 では、上記比較器22の出力に応じて 出力電圧を変えており、実施例の場合は図3 (d) に示 *50* されるように、プランク部分の電圧値が低いので、比較

器22の差出力は正電圧信号となり、この差出力に応じ て上昇した電圧V1 が端子bに供給される。従って、ス イッチS1 がb側に切り換えられているときに、プラン ク部分に基準電圧V1 の信号が嵌め込まれることにな り、ビデオ信号は図3(f)に示される信号となる。

6

【0020】以上のように、実施例ではガンマ補正回路 5の直前で第2のクランプ回路14が第1のクランプ回 路10で設定されている基準電圧V1を入力してクラン 10 プ動作を行うので、図3 (f) に示されるように、オブ ティカルプラック部分100とプランク部分101が基 準電圧V1 に良好に揃い、プランク部分101は黒レベ ルに一致することになる。従って、ガンマ補正回路 5の 動作は、図3(b)に示される狭い幅の第1のクランプ パルスCP1 で得られた黒レベル値を基準とすることな く、上記オプティカルプラック部分100及びプランク 部分101の領域で設定される幅の広いクランプパル ス、例えば第2のクランプパルスCP2 で得られた黒レベ **ル値に基づいて行うことができる。この幅広のクランプ** パルスで検出した場合は、ビデオ信号の黒レベルにノイ ズがあっても平均化でき、正確な黒レベル値をガンマ補 正の増幅の際の基準とすることができ、ビデオ信号のS N比を向上させることが可能となる。

【0021】図4には、本発明の第2実施例の構成が示 されており、この第2実施例は図示されるように、第1 のクランプ回路10内のサンプルホールド回路17の出 力を低域通過フィルタ26を介して第2のクランプ回路 14内の比較器22の参照基準電圧として供給してい る。そうすると、上記比較器22ではサンプルホールド 回路21で検出されたプランク部分のサンプルホールド 電圧と上記第1のクランプ回路10内で検出されたオブ ティカルプラック部分のサンプルホールド電圧とを比較 することになる。従って、ビデオ信号のブランク部分1 0 1 は実際に検出された黒レベルに合せるようにクラン プされることになり、この場合もオプティカルプラック 部分100とブランク部分101が基準電圧V1 に揃 い、ブランク部分101は第1のクランプ回路10で処 理された現実の黒レベルに良好に一致することになる。

[0022]

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、 ビデオ信号のオプティカルプラック部分をサンプルホー ルドし、このサンプルホールド電圧が基準電圧と等しく なるようにクランプする第1のクランプ回路と、可変電 圧器を備えておりビデオ信号のブランク部分をプランキ ング処理するプランキング回路と、このプランキング回 路のプランキング動作中の出力をサンブルホールドし、 このサンプルホールド電圧を上記第1のクランプ回路で 設定された基準電圧と比較し、上記プランキング回路の 可変電圧器の電圧を制御する第2のクランプ回路とを設 け、ブランク部分の信号レベルが基準電圧と等しくなる 7

ようにしたので、ビデオ信号のブランク部分を黒レベル に完全に一致させることが可能となる。この結果、ガン マ補正などの処理において、SN比を改善した形で信号 処理を良好に行うことができるという利点がある。

【0023】また、第2請求項に係る発明は、上記第2のクランプ回路において、第1のクランプ回路での黒レベルのサンプルホールド電圧とブランク部分のサンプルホールド電圧とを比較し、ブランク部分のレベルが第1のクランプ回路で検出された黒レベルと等しくなるように制御したので、上記効果を得ることができると共に、この場合にはプランク部分のレベルが第1のクランプ回路でクランプした後の現実の黒レベルに一致することになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1実施例に係る電子内視線装置用クランプ回路の構成を示す回路プロック図である。

【図2】実施例のプランキング回路及び第2のクランプ 回路の具体的な回路構成を示す回路図である。

【図3】実施例回路の動作を説明するための波形図であ

る.

【図4】第2実施例のクランプ回路の構成を示す回路プロック図である。

【図 5】従来の電子内視鏡装置を説明する図で、図(a)は装置内の構成を示す回路プロック図、図(b)はガンマ補正を説明するための図である。

【図 8】 従来の回路で処理されたビデオ信号を示す被形 図である。

【符号の説明】

IO 1 ··· CCD、2 ··· 增幅器、

5 … ガンマ補正回路、

10 … 第1のクランプ回路、

12 … ブランキング回路、

14 … 第2のクランプ回路、

16, 20 … アンプ、

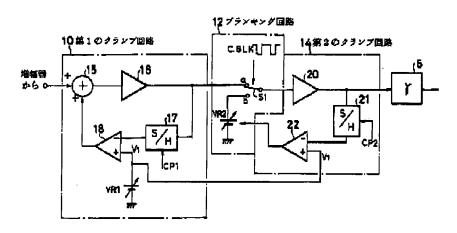
17,21 … サンブルホールド回路、

18, 22 … 比較器、

VR1, VR2 ··· 可変電圧器、

S1, S2 ... スイッチ。

[図1]



【図2】

(a) ピデオ 100 101 100 101 101 (b) クランブ 1H 101 101 (c) ブランキンダ 回路出力 101 101

[図6]

